

七月三〇日

朝五時半起床。涼しい風が部屋に入ってきて気持ちが良い。屋上菜園の草むしり、及び散水。最近私が屋上に上ってゆくと草の奴等が嬉しそうな素振りをするようで気持ち悪い。今日は午前中モノミーティング。昨日ゼロシエルのアイデアがまとまり始めたが、これはまだM1には引き渡せない。地下で基本を固めてみる。世田谷村から一步前進したプロジェクトになるだろう。

十時大学でモノミーティング。日常生活用品に関してはM1のデザインはかなり増した。その旨M1に伝える。考えてみればM1を誉めたのは初めての事だ。

十三時野田さん父娘さんとその亭主来室。次回は八月八日に打ち合わせとする。今のところはスムーズに進行している。野村が中国五台山近くの恒山懸空寺のスライドを見せてくれた。先日大同雲岡石窟に行った時にチョッと寄れば良かったところだ。大同から九〇KM程のところだから、すぐ近かったのだ。ガイドが一日半かかるなんて言うものだから断念してしまったのが無念である。夏休みに行ってみようかな。懸崖造りのキングかも知れない。

十七時半世田谷に戻る。地下は外のうだるような暑さからは別世界だ。が、しかし、もう少し深く掘れば良かった。深い地下室というのも良いものだ。夜地下のスタッフとコロツケを食べながら雑談。雑談の中からアイデアが出るかなと思ったが、まだそれ程の事も無い。ゆっくりやるぞ。

七月三一日

朝屋上菜園で草むしりその他。汗びっしょりとなる。二階に大きな月下美人が来た。一年に一日しか咲かないモノらしい。来年を楽しみにしよう。

生活用品の開発販売に関して一〇〇種類までは筋径を立てずに、ほぼ、でたら目に乱雑にすすめる。一〇〇に達したら少し整理をするという方針は変えない。

ゼロシエルターに関して現社会に過剰に生産され続けているモノの情報を先ず集めなくてはならない。現社会体制は過剰な流通の無目的な拡張が基盤になっている。その全体を先ず知る必要があるが、それは困難である。必要が在るところに余剰なモノを流通させる必要を形にするのがデザインだ。先ずその必要あるいは必然を形にしてみせることが先決だ。解りやすく言えば流通だけでモノを作ってみせること。流通のデザインが即モノ作りになる事を明快なモデルで示さなくてはいけない。

世田谷村第二期の実験はゴミである。私が毎朝私の食べたモノのゴミを屋上に上げて土中に埋めているのは今の社会では極めて論理的に正しい。私の屋上菜園はゼロシエルター計画の極めて初歩的な試みであった。次は屋上の作業小屋及び一階、つまり地上階のガレージ及び小住宅を全て、ゴミを集めて作るのを始める。オーブンテックハウス 5朝山さんの家にもできるだけ廃棄されている古材を使ってみよう。名古屋浜島医院はその典型となるだろう。余剰生産物、有用な廃棄物の有無に関して情報を集めなければならぬ。しかもある一定の目的(デザイン)に即応しながら。